平成27年度 生活指導部 1学期分掌マネジメント

岩美町立岩美中学校

<p>学校教育目標</p>	<p>生活のリズム（望ましい睡眠・食事のあり方、メディアとのつきあい方）、生活習慣（身だしなみ、清潔感、整理整頓）を定着させ、自主・自立の精神を養い、共生の精神を尊重する人間関係づくりを構築し、学力向上をめざす。</p>											
<p>重点努力事項</p>	<p>(1) 生活リズムや生活習慣を身につけさせ、学習規律や学習態度の確立、学習習慣を定着させることによって、基礎学力の向上をめざす。 (2) 人間関係を育む学級経営、学習指導、学校行事、生徒会行事、部活動を通して、「学校が楽しくて満足している」と実感できる、共に生きる集団づくりをめざす。 (3) 生徒一人ひとりが、価値ある存在として実感することができ、自分の生き方に希望や誇りをもって、「社会とどう向き合い、社会とどう関わっていくか」を形成し、自己実現を図っていくことができる学校づくりをめざす。</p>											
<p>分掌重点目標</p>	<p>規則正しい生活習慣を定着させるとともに、ルール・マナー・モラルの向上と共生の精神を尊重する態度を育て、地域に貢献する意欲を高める。</p>											
<p>H27年度への提言 Action</p>	<p>分掌がめざす生徒の姿</p>	<p>分掌目標 Plan</p>	<p>主な活動 Do</p>	<p>活動へ向けての努力事項 Do</p>					<p>到達目標</p>	<p>評価基準(Check)</p>	<p>成果と課題 Do&Check</p>	<p>二期への提言 Action</p>
<p>基本的生活習慣を身につけるの項目は健康安全指導と同じことなのでそちらで徹底させる。規範意識の徹底が崩れているのでそちらに重きをおく。メディアとの付き合い方は継続して啓発していく。 生徒にどのような力をつけさせたいかを明確にし、生徒・保護者への啓発を継続する。家庭での実践に向けての方法を研究する。</p>	<p>・・・ 自明ル自人他る1分にをいれを喜価値を大ば値授守切れあ、りに、る節・し人存度マ`に在あナ他役とる1人立しきをををつてび身大自実きに切分感ひつがししけす好、た・るき共行モ自なに動ラ分生がルが徒きとの好るれあき仲るな間自自生と分徒しががて好活きき動ななで生徒徒る生徒</p>	<p>〇〇〇 達ル規成1則感ル正 ・・し役マい立ナ生ち1活感`習をモ慣得ラとらル規れの律を活立定動を着をめさせ増させやすす</p>	<p>生活指導</p>	<p>・オリエンテーションによる一斉指導 ・GW前休前指導</p>	<p>・テスト週間での下校指導 ・合い服への全体指導</p>	<p>・テスト週間での下校指導 ・夏服への全体指導</p>	<p>・夏休み前の指導</p>	<p>生活振り返りアンケート実施→分析</p>	<p>○学校のルールを守って生活できている。 ○テレビ視聴時間やパソコン・ゲーム時間を自己管理できるようにさせる。</p>	<p>○生活振り返りアンケート 「服装・髪型など学校のルールを守って生活できていますか。」80%以上 「学校がある日のお放課後、1日にどれくらいメディアを見たり、使ったりしますか」2時間未満70%以上</p>		
<p>基本的生活習慣の定着を目指して、生徒が自覚しやすい歯みがき指導を中心に自分の健康を意識できる集団・個別指導を充実させる。メディア利用は、睡眠時間・生活リズムの視点と心の健康や性教育の視点から、今後の指導を検討していく必要がある。</p>			<p>食育指導</p>	<p>・オリエンテーションによる一斉指導</p>	<p>・西小学校 保護者試食会</p>	<p>・食育月間 ・歯の衛生週間</p>	<p>・家庭科1年アジ調 理 ・個別教育懇談</p>	<p>・保育所における食指導</p>	<p>給食時の指導、食育掲示の実施 献立表、食育だよりによる啓発活動 生活振り返りアンケート実施→分析</p>	<p>○「早寝・早起き・朝ごはん」の重要性を生徒、保護者が理解する。 ○行事・教科と関連した食指導を実施する。</p>	<p>○給食時間の指導回数 各クラス1回 ○生活振り返りアンケート 「朝食を（必ず・たいてい）とる」が95%以上。 ○保護者質問紙 「学年・学級便りや連絡文書をよく読んでいる」肯定意見90%以上。 ○町内保育所における食指導の実施。</p>	
<p>基本的生活習慣の定着を目指して、生徒が自覚しやすい歯みがき指導を中心に自分の健康を意識できる集団・個別指導を充実させる。メディア利用は、睡眠時間・生活リズムの視点と心の健康や性教育の視点から、今後の指導を検討していく必要がある。</p>			<p>健康安全指導</p>	<p>・オリエンテーションによる一斉指導 ・各種健康調査 ・内科健診(3年) ・身体測定 ・机椅子の調整 ・避難訓練</p>	<p>・歯科検診 ・眼科検診 ・尿検査 ・浦富マラソン ・内科健診(1年)</p>	<p>・内科健診(2年) ・新体力テスト ・いのちの出前授業(3年生) 夜の歯みがき</p>	<p>・アレルギー対応研修会</p>	<p>歯みがき強化週間の実施 生活振り返りアンケート実施→分析</p>	<p>○生徒に「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣の定着を図る。 ○給食後の歯みがき、夜の歯みがきの習慣付けをし、さらにていねいにみがくよう意識づける。</p>	<p>○生活振り返りアンケート「朝食をとる」が90%以上 ○睡眠時間7時間以上の生徒が55%以上 ○メディアの利用時間2時間以内の生徒平日70%以上 ○夜の歯みがき3分以上65%以上</p>		
<p>今年度の体制で引き続き取り組み、未然防止の課題が出てきたらその対応策を練る。</p>			<p>交通安全指導</p>	<p>・交通安全指導</p>	<p>・交通安全教室</p>			<p>生活振り返りアンケート実施→分析</p>	<p>○進んで交通のマナーやルールを守れる生徒を育てる。 ○町区別生徒会を利用し、通学路の徹底と危険箇所を確認し、意識を高めさせる。</p>	<p>○生活振り返りアンケート 「交通のルール、マナーを進んで守ることができた。」という項目を増やし、評価する。80%以上</p>		
<p>支援計画、指導計画の内容を速やかに各教科担当に情報提供し全職員で支援をおこなう。</p>			<p>不適応対策教育相談活動</p>	<p>・欠席等の状況把握とタイムリーな対応(年度当初の揺れ動<状況について)</p>	<p>・全校教育相談アンケート(連休明け) ・不適応対策委員会(連休明けまでの状況と変容について)</p>	<p>・不適応対策委員会(連休以降、6,7月までの状況及び変容について)</p>		<p>スクールカウンセラーとの連携(特に、保護者に対しての助言、方向付け)</p>	<p>○前年度不適応生徒の教室復帰の定着及び新規不適応の未然防止に努める。 ○5月実施の教育相談アンケート等により、不適応ではないがその心配のある生徒の把握に努め、迅速に対応する。</p>	<p>○全校教育相談アンケート「不安なこと、困っていること、心配なこと」を挙げることができる生徒50%以上 ○教職員質問紙「学校不適応対策は委員会を中心に計画的に実施されている」肯定的意見90%以上</p>		
<p>学級活動などで、意見が対立する場面をあえて設定することにより、生徒たちに解決する方法を考えさせたり、教師からアイデアを提供したりして、対立場面を解決する経験をさせる。授業で使う資料の見直しとボランティアに参加した生徒へのプラスのフィードバックを行う無言掃除、時間いっぱい掃除の徹底を図る。緑化ボランティアへの参加者を増やすための取り組みを行う。</p>			<p>特別支援教育</p>	<p>生徒理解職員会</p>	<p>第一回支援委員会の実施</p>	<p>LD等専門員巡回相談</p>	<p>第一回校内就学指導委員会</p>	<p>生徒支援校内研修会</p>	<p>関係諸機関との連携</p>	<p>○「個別の支援計画」に基づいて教職員が連携して個別支援を行うことができる。 ○具体的支援方法がわかる。</p>	<p>○教職員質問紙「一人ひとりの生徒に対し綿密な特別支援教育が実施されている」肯定的意見85%以上 ○研修後アンケートを実施し、肯定的意見175%以上</p>	
<p>学級活動などで、意見が対立する場面をあえて設定することにより、生徒たちに解決する方法を考えさせたり、教師からアイデアを提供したりして、対立場面を解決する経験をさせる。授業で使う資料の見直しとボランティアに参加した生徒へのプラスのフィードバックを行う無言掃除、時間いっぱい掃除の徹底を図る。緑化ボランティアへの参加者を増やすための取り組みを行う。</p>			<p>人権教育</p>	<p>・学級ひらき(仲間づくり) ・年間指導計画の検討</p>	<p>・人権学習アンケート 人権学習 1年 人間関係を豊かに</p>	<p>・人権教育授業参観 ・人権作文 1年 子どもの権利条約 2年 統一応募用紙の取り組みに</p>		<p>生徒たちに育てたい資質・能力(岩美町・教科で設定)を意識した日々の実践の積み重ねを行う</p>	<p>○自分の思いを表現し、人の思いを受け止めながら、落ち着いた生活を実践することができる。 ○相手との対等な関係を考えながら会話・行動しようとする事ができる。</p>	<p>「人権教育アンケート」 ○「相手の意見も自分の意見も大切に、話し合い、より良い方法を考える」の肯定的評価90%以上</p>		
<p>学級活動などで、意見が対立する場面をあえて設定することにより、生徒たちに解決する方法を考えさせたり、教師からアイデアを提供したりして、対立場面を解決する経験をさせる。授業で使う資料の見直しとボランティアに参加した生徒へのプラスのフィードバックを行う無言掃除、時間いっぱい掃除の徹底を図る。緑化ボランティアへの参加者を増やすための取り組みを行う。</p>			<p>環境美化</p>	<p>・オリエンテーションによる一斉指導</p>	<p>・無言掃除への取り組み</p>	<p>・校内緑化活動</p>	<p>・節水・無言掃除への取り組み</p>	<p>節水・節電を意識した学校生活</p>	<p>○積極的に清掃活動に取り組む生徒が増える。 ○積極的な緑化ボランティアへの参加 ○移動教室の際に、教室の戸締まり・消灯ができる。</p>	<p>◇生活ふりかえりアンケート 「時間いっぱい無言掃除に取り組む」の肯定的評価が80%以上</p>		